

第41回 通常総代会に向けた 第1次議案書

一人ひとりの声で「かたち」にします 私たちの東都生協

2015年度 総代会までのスケジュール

CONTENTS -目次-

- 2014年度の組合員活動 4
- 2014年度の事業経営/組織運営 6
- 2014年度の事業のようす 8



総代会は、組合員から選ばれた代表=総代(定数600人)が、1年間のまとめと次年度の活動方針・事業計画などを決める大切な会議です。

みんなでつくる 2015年度の 東都生協

2015年度は持続的な経営構造を確立するために計画し取り組んできた「経営改革計画3カ年」の最終年度として、事業の成長軌道への転換を目指していきます。さらに、「第9次中期計画」(2016年～18年の3カ年計画)を策定し、産直を基軸に安全・安心なこだわりの商品を提供する事業を進めてきた40年余の成果を確認しながら、さまざまな課題に対してしっかりとした答えを見だし、向かうべき方向を組織全体で一致させて取り組んでいきます。

2015年度 活動・事業の重点

1 組織を挙げて仲間づくりを進め、利用定着を高めま
加入した組合員が東都生協に入ってよかったと実感し、利用が継続できるように商品の品質や品揃え、利用のしやすさなど東都生協だからこそ満足できる状態をつくりま。また、組合員紹介や組合員活動を通じた仲間づくりも強化します。

2 経営改革をさらに推し進めま
事業の成長に向けて必要な資源を確実に確保するとともに、共同購入の仕組み刷新や商品の品揃えの一層の充実など、組合員目線に立った事業運営を進めま。

3 暮らしをサポートする事業を再構築
共済事業や生活文化事業、弁当配食事業など、組合員の暮らしに役立つ収益事業として確立します。また、家事代行サービスなど、生協の安心と信頼を背景にした暮らしをサポートする事業も実現します。

4 組合員活動の活性化を進めま
子育て世代にとって魅力ある生協にしていくために新しい組合員が気軽に参加し、元気に活動できる組合員活動の活性化を図っていきます。

5 産直と食の未来づくりを進めま
生産者と消費者をつなぐ産直を通じて、次世代の農業後継者を確実に育てるとともに、安全でおいしい農産物を食卓に提供し続けることで、組合員にとってなくてはならない「産直の東都生協」になっている姿をさらに追求していきます。また、魅力ある交流活動を通じて、1人でも多くの産直ファンを増やし、事業の発展に結び付けていきます。